

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスばななん		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 1日 ～ 7年 1月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 1日 ～ 7年 1月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動の中で様々なコグトレに取り組んでもらい 本人の得意なことや苦手な部分を知り学習の土台作りを 強化している	認知作業トレーニングではコグトレ棒を使って運動や 力加減を定期的に行い記録を取っている	高学年の利用者が多いのでコグトレを通して就労に必要な 力をつける
2	将来に向けて、家事トレーニングや就労活動を行っている	頑張っており組めた子どもには帰りの会でシールを渡し モチベーションを上げている	就労支援で行う内容を増やして自分でできることを増やし 自信に繋げる
3	体・脳・指先を使う活動等を毎月行っている	場所の構造化で個別活動（学習）と集団活動の区別を 明確にしている。	子どもたちに活動を考えてもらい全員で参加ができるよう にしてい

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域活動はしているが、放課後児童クラブや児童館、地域の他 の子どもたちとの関わりができていない	積極的なアプローチができていない	近隣の放課後児童クラブや児童館とコンタクトを取り交流 する内容を提案できるようにする
2	活動のマンネリ化	パターン化している部分があるが人気のある活動は継続して 行う	利用者様や保護者様にアンケートを行い新しい活動を取り 入れていく
3	余暇の過ごし方	余暇でトラブルやヒヤリハットが起きやすい状況になって いる	空間の構造化で落ち着いて過ごせる環境と運動できる環境 に分ける

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				令和7年2月15日	
児童デイサービスばななん		利用児童数				25	
		回収数				17	
		チェック項目				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1.	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。				活動スペースは広く、学習スペースが分けてあることは良いと感じる	余剰のスペースも設けていますが仕切りがないためマットを敷く等の工夫をしています
	2.	職員の配置数は適切であると思いますか。				適切な程度がわからないですが専門的な職員がいるとありがたい	現在専門的（PT、OT、ST）な職員はいませんがその専門員と連携を取ることが可能です
	3.	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。				階段に手すりは付いていますが適切な配慮をお願いしたい よく見たことがないのでわからない	特に下りの時には職員が前に行き安全に十分配慮していきます
	4.	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。				よく見たことがないのでわからない	見学の際には案内を行っていますが見学から案内できるようにしていきます
適切な 支援の 提供	5.	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。				丁寧に説明をしてもらっている	個々の特性を各職員が理解して同じ支援ができるようにします
	6.	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。					職員間で意識していきます
	7.	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。					今後もアセスメントを元に分析し個別支援計画を作成します
	8.	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。					保護者様にわかりやすい支援内容を行います
	9.	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。					保護者様や利用者様が納得できる支援を行います
	10.	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。				様々な活動を取り入れてもらっている	5領域に従い、活動にも変化をつけて、今後も継続していきます
	11.	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。				案内はされていないのでわからない	地域の子ども達等の交流する機会ができていないので今後は交流が持てるように呼びかけしていきます
	12.	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。				契約時に聞いている	より分かりやすく丁寧な説明を行っています
	13.	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。				アセスメントシートに記入をしたが直接の説明は時間が取れず受けていない	今後は時間が取れる限り直接説明ができるようにしていきます
	14.	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。				案内はされていないのでわからない	ご家族が参加できる機会を増やしていきます
	15.	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていていると思いますか。				送迎の際にその日の様子を伝えてもらっている	送迎時に保護者様が不在の際には公式ラインかTELで様子をお伝えしていきます
保護者 への 説明 等	16.	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。				利用を始めて能がないのでまだその機会がない	事業所内面談や家族支援を増やしていきます
	17.	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。					今後も各職員が共感的な支援ができるように研修や話し合いを行っています
	18.	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。				親子で参加できる活動を増やしてほしい	活動に定期的に取り入れるようにして交流ができるようにしていきます
	19.	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。				困りごとがあると相談に乗ってもらっている	今後も些細なことでも安心して相談ができる環境づくりを行います
	20.	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。				公式ラインで伝達ができることはありがたい	日々の活動やディールームの様子が分かるように発信していきます
	21.	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。				毎月、活動の様子を写真付きで送っている	通信だけでなくSNSでの発信については安全面を重視して検討していきます
	22.	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。				幼児童の顔写真が写っていること等配慮がされている	今後も十分な配慮をしていきます
	23.	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。				契約時に説明を受けた	各マニュアルを更新して全員に周知・説明が行き渡るようにしていきます
	24.	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				活動で行われている月もあるが具体的な内容がわからない	様々な災害を定期的に曜日も固定せずに活動で全員が参加できるようにしていきます
	25.	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。					こどもの安全の確保について職員間のチームワークを高めしていきます
満足 度	26.	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。				すぐにTELで詳しい内容の連絡をもらっている	事故が起きたときの連絡やその後の様子についても丁寧に説明していきます
	27.	こどもは安心感をもって通所していますか。				慣れてないときはいつも不安がっていたが最近は軽減されてきた	不安な様子が見られる時には職員がそばにつくようにしていきます
	28.	こどもは通所を楽しみにしていますか。				る お友達が増え楽しみにしている 最近他の子と揉めていて不満が出て	友達関係での不満がある場合はしっかりと本人の話を聞き早めの対応をおこないます
	29.	事業所の支援に満足していますか。					今度も満足していただける支援になるように職員間で意識を高めていきます

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービスばななん		公表日		令和7年 2月 15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		活動する場所と学習する場所を分けていることにより活動スペースが広く使えるようになった	スペースごとの区切りをつけ利用者様が気持ちの切り替えができるように配慮する	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	1	シフトを早めに作成して十分な配置数を確保できるようにしている	専門的な職員と連携が取れるようにする	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		場所の構造化された環境づくりをしている	利用者様が安全に過ごせるように配慮する	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、 こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	職員と利用者様で退居前に片付けをしている	活動に合わせて適切な空間づくりができるようにする	
	5	必要に応じて、 こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	集中したい時やクールダウンが必要な時に職員に声をかけ使用できるようにしている	使用する時のルールを職員や利用者様に周知し使用できるようにする	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、 広く職員が参画しているか。	6				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		各利用者様に合った支援プログラムになるように保護者様や職員で情報共有をし作成している	作成された支援プログラムを職員や保護者様で共有する	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		事業所内相談や担当者会議の内容を踏まえ作成している	職員間で共有する	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		作成前に職員間で支援についての共通理解を回り検討している		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		個々に合った支援内容になるようにしている 本人支援の内容がより具体的になるようにしている	家族支援や移行支援、地域支援もより具体的な内容になるように設定する	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		活動を組む時は職員で意見を出し合いながら立案している	活動内容が定番の物ばかりではなく利用者様が楽しみにして支援計画に沿った内容になるようにする	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	5領域に従い様々な活動が組めるようにしている	毎月違う活動が組めるようにする	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		利用者様の状況に合わせて支援が行えるように計画を作成している		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	支援内容を職員間で事前に確認している	連携がスムーズにできるようにその日行われる支援内容の役割分担を確認する必要がある	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		支援終了時に職員間で情報共有をしている 気付いた点や改善すべき点を話し合っている		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	支援終了後に支援内容について意見交換をしている	支援内容に関して記録をとるようにする	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		自立支援に関する活動を取り入れている 創作活動が自由に取組み始める環境がある	地域交流の機会を設けるようにする	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		活動内容に選択肢を設けて自由に選べるようにしている	集団で行う活動の時はなるべく参加できるような環境を作る	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	利用者様の思いや状況を理解し参画している			
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		保護者様を通して関係機関と連携して支援を行っている			

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		保護者様を通して連携を取ったり、学校送迎時や訪問支援時に情報を共有している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	公園活動の時に交流できる時間が少しある	地域の子どもと活動できるようにする
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時にその日の利用者様の様子を伝え課題となっている部分を話すようにしている	送迎時に不在の場合は公式ラインやTELなどで連絡を取るようになる
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	家族で参加できる活動を取り入れるようにしている	家族支援の機会を増やすようにする
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明をしている	より丁寧な説明を心がける
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		個別面談を行い保護者様や子どもの思いを確認するようにしている	保護者様の気持ちに寄り添い納得してもらうようにする
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		個別面談を行い支援に繋げている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4	家族で参加できる活動がある	保護者様やきょうだいが参加できる活動が少ないので定期的に取り入れるようにする
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情があった場合適切に対応している	保護者様からのご意見がないように支援を提供する
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月通信を発行し利用者様の様子をお知らせしている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報関連の書類はファイルを分けて管理している	利用者様の顔が映っている写真を扱う時は十分に配慮する
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		公式ラインやTELなどを使って情報共有できるようにしている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	行事ごとに活動内容を考えている	活動で地域交流ができるようにする
非常時の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		避難訓練の実施を定期的に行ったり避難経路を掲示したりしている	職員や利用者様等との共通理解ができるように周知・説明する
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		既往歴や服薬中の薬などの情報を保護者様と連携し職員間で把握している	利用者様が安心・安全に過ごせるように配慮する
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		医師の指示書に基づく対応ができるように保護者と連携している	利用者様が安心・安全に過ごせるように配慮する
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全管理を十分に行い支援している	事業所内だけではなく事業所周辺の安全管理も行う
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		すぐに連携が取れるように事業所内に連絡の手順を掲示している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		利用者様が安全に過ごせる環境づくりをし事故が起こらないようにしている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			